別記参考様式第1号

農山漁村地域整備計画

平成２８年３月３０日

計画の名称

森林の利用・保全を核とした南丹地域整備計画

計画策定主体

京都府（南丹広域振興局）

対象市町村

亀岡市、南丹市、京丹波町（3市町）

計画の期間

平成25年～平成27年(3年間)

計画の目標

南丹地域は、由良川・淀川両水系の分水嶺に当たる丹波高原を始め、森林率は府内で最も高い83%であり、緑豊かな自然環境と歴史・文化資源に恵まれた地域で、大都市圏からの交通網も整備される中で、農産物の供給基地や都市近郊定住圏としての発展が期待されています。

森林の利用・保全の課題としては、戦後の植林を中心とした森林資源が充実してきている一方で、木材価格の低迷や森林所有者の高齢化等により手入れが遅れた森林（間伐対象林は約17千ヘクタールと府内で最多）が増えていることや、林道・作業道等の整備が遅れていることから、良質な木材生産のみならず水源の保全や土砂の崩壊の防止など、森林の持つ公益的機能の発揮に向けた継続的な保全が必要となっています。

そこで、本計画では、間伐等の森林整備及び林道、治山施設等の基盤整備を一体的に実施し、水源かん養など森林の持つ公益的機能が高度に発揮され、淡水漁場、農地及び集落等の保全対象を守る森づくりを目指すとともに、他事業と連携して間伐材の利用を推進し、豊かな自然と豊富な地域資源を活かした地域振興を図ります。

定量的指標

○ 森林基盤整備を推進することにより、間伐材の利用を12,000m^3（H22～24平均）から13,600m^3（H25～27平均）に向上させます。

○ 森林の持つ水土保全機能が高まった集落数を96集落(H24時点)から104集落(H27時点)とします。

対象事業

（単位：千円）

事業名	事業型	事業箇所名（地区名）	事業実施主体	関係市町村	計画期間内の事業内容（工種及び数量）	工期	計画期間内の総事業費	備考
治山事業	予防治山等	南丹	京都府	亀岡市、南丹市、京丹波町	治山ダム　17基他 山腹工 森林整備A=　25ha	H25　～ H27	500,000	
効果促進事業								
森林整備事業	共生環境整備事業	南丹	亀岡市、南丹市、京丹波町、京都府、京都府森と緑の公社	亀岡市、南丹市、京丹波町	森林整備A=12 ha	H25　～ H27	2,000	
効果促進事業								
森林整備事業	森林管理道整備	南丹	京都府 ・京丹波町	南丹市、京丹波町	林道改良　L=372m 林道開設 L=1,000m	H26　～ H27	98,000	
効果促進事業								
合計 （全体事業費）							600,000	